

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21年 3月 23日 作成
 20年度決算把握後平成 21年 5月 19日 作成

事務事業名		電算システム職員サポート事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	市長公室	担当者名	松本 嘉奈恵
	基本事業	85	情報化の推進	所属班	情報広報班	(内線)	1262
				法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	3	
									コスト削減優先度評価結果	11

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度	18	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)
------	--------------------------------	--	----	-----	-------------------------------------	---	-----

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 電算システム(情報系・基幹系)を職員が利用しやすい体制づくりを行う。
【業務の流れ】
 ①電算システム(情報系・基幹系)を利用する全職員が業務を行う際のサポートを行う。
 ②各課から代表者を選出し、庁内ネットワーク推進委員会を開催。電子システムの運用についての検討や周知をする。
【主な予算費目】 需用費(消耗品費)、備品購入費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市職員、嘱託・臨時職員
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	電算システムに対する使用および利用がレベルアップする。
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	IT化により仕事の情報が容易に入手できる。

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	458	12	13	13	13	13	13	
	(A) 事業費計	千円	458	12	13	13	13	13	13	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	2,000	1,790	1,790	1,776	1,790	1,790		
(B) 人件費計	千円	7,940	7,124	7,124	7,068	7,124	7,124	7,124		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,398	7,136	7,137	7,081	7,137	7,137	7,137		

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目標
活動指標	回数	3	2	5	3	5	5	5	5
	件	1550	1550	100	950	850	650	650	650
対象指標	人数	350	350	350	350	350	350	350	350
成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100
上位成果指標	%								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か? いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 業務において、電算システム(パソコンなど)が急速に普及し、職員が業務を効率的に行うことができる体制をつくるため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 現在国をはじめ自治体では、行政サービスにおいて電子化の普及に取り組んでおり、ほとんどの業務がシステム化されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・電算システムを利用している職員間でレベルや意識の差がある。
 ・電算システムの利用について統一してほしい。(人によって使い方が違い、必要なデータを探しにくいなど)

事務事業名	電算システム職員サポート事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	----------------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 職員が電算システムを効率良く利用できるということは、市民サービスの向上につながるため政策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 職員が電算システムを効率良く利用できるということは、市民サービスの向上につながるため政策に結びついている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 電算システムを利用する全職員を対象として繰り返し実施する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 庁内ネットワーク推進委員会の会議の内容および委員の役割を工夫することで、職員への連絡体制の改善を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ サポート体制がなければ、職員がスムーズに業務を行うことができないので、住民サービスが低下する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 職員からの質問や連絡事項は日々発生し、その対応が必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 主に職員の人件費であるので、庁内ネットワーク推進委員会を利用し、職員への連絡体制を確立することで、個別の質問への対応が減少する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ⑦と同様。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 電算システムに関する職員のレベルアップは組織全体として取り組むものである。

3 評価結果の総括(SEE)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>有効性は、庁内ネットワーク推進委員会の役割を見直し、職員が業務をスムーズに行える組織にする。</p> <p>効率性は、職員へのサポート体制や連絡体制にばらつきがあり、効率的な体制づくりが必要。</p>
--	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>電算システムに関する職員へのサポートを行うのは、情報広報班職員の役割であるが、分庁方式であるために、電算部署がない庁舎の職員からの質問や要望に対して即対応できないことがある。そのためにも、庁内ネットワーク推進委員会を活用し、全職員が業務を効率良く行うことができる体制をつくる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	○																	
	維持																		
	低下																		

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
職員は個々の業務が忙しく、電算システムのレベルアップに費やす時間がとれない。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)